

## **2. 平成28年度修繕実施状況について**

## ＜各構造物の平成28年度の修繕進捗状況＞

道路施設	H28修繕 当初計画数 (A)	H28修繕 実施数 (B)	計画数と実施数 との差 (B-A)	修繕実施率 B/A
橋梁	102	118	16	116.0%
トンネル	1	1	0	100.0%
道路附属物等	32	15	-17	46.9%

- ・ H28修繕実施数 (B) には、平成28年度修繕完了見込みも含まれています。

## ■和泉橋の損傷概要

平成22年度の点検結果においてC判定。  
経年の橋面防水劣化による床版の漏水・遊離石灰



## ■和泉橋の諸元

橋長	35.814m	支間長	32.918m		
幅員	45.00m	有効幅員	44.00m	塗装仕様	C-5塗装系
竣工年	1930年			適用示方書	T15
交通量	42161台/日(H22)	大型車混入率	19.0%		
橋梁形式	単純鋼(鉄)リベットアーチ橋				



## ■修繕工事の内容

点検結果より歩道部の遊離石灰等が主に出ていたため、歩道部の橋面防水を行った上で、ひび割れ補修工断面修復工を行い、交差する河川では船舶の往来があるため剥落防止型の表面被覆工を実施。



※この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの橋梁にもそのまま適用できるものではありません。

## ■中川大橋の損傷概要

平成21年度の点検結果においてC判定。主桁、横桁、縦桁、床版の腐食。床版張出部のボルト継手箇所からの漏水と、伸縮装置からの漏水により、周辺の鋼材が腐食している。



## ■中川大橋の諸元

橋長	134.400m	支間長	40.700m+52.000m+40.700m		
幅員	30.80m	有効幅員	30.00m	塗装仕様	C-5塗装系
竣工年	1989年			適用示方書	S55
交通量	61058台/日(H22)	大型車混入率	18.2%		
橋梁形式	3径間連続鋼床版箱桁橋				



## ■修繕工事の内容

点検後の現場調査において、設置から25年を経過している伸縮継手のボルト損傷・被覆ゴムの剥離・変形を確認された。伸縮装置付近の漏水が原因と考えられるため、伸縮装置取替えを実施。



施工前



施工後

※この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの橋梁にもそのまま適用できるものではありません。

## ■大杉橋の損傷概要

橋梁点検において、主桁の塗装の剥がれ、舗装の亀裂、伸縮装置の破損、斜材カバーの劣化等が確認された。



## ■大杉橋の諸元

橋長	119.0m	支間長	72.5m+45.5m
幅員	18.9m	有効幅員	3.1m+9.0m+6.0m
竣工年	1994年(H6) 経過年数 22年		
適用示方書	平成2年		
橋梁形式	鋼2径間斜張橋		



橋梁全景

## ■修繕工事の内容

橋面防水・舗装機能を回復するための歩車道舗装に併せ、伸縮装置及び斜材カバーの修繕を実施。橋梁の塗装については、修繕計画に基づき平成33年度の予定。



施工前



施工後

※この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの橋梁にもそのまま適用できるものではありません。

## ■ 損傷概要

平成27年度の点検結果において、床版下面におよそ50cm間隔のひび割れが多数あり、遊離石灰が確認された。床版ひびわれは全体的に分布しており、前回点検(平成23年度)結果と比較すると進行が見受けられた。

## ■ 修繕工事の内容

ひび割れ幅が0.2~0.5mmには低圧注入工法(アクリル樹脂)、ひびわれに遊離石灰が生じている箇所はコンクリートをU字形カットして充填工法(ポリマーセメント)による修繕を行った。渇水期での修繕であり低温下になることが予測されたため、低温下でも硬化性に優れており速硬性で工期短縮を図れるアクリル樹脂を採用した。



## ■ 千羽橋の諸元

ふりがな	せんばやし 千羽橋		
位置	自 緑ヶ丘1丁目 至 緑ヶ丘1丁目		
路線名	市道	東3	号線
橋下種別(名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> その他( 用水 ) ( 仙川 )		
橋 格(示方書)	2 等橋 TL-14 ( <input type="checkbox"/> 大正 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 39 年 鋼道示 )		
設計業種	KH = 不明		KV = 不明
橋 長	14.800 m	総幅員	5.600 m
有効幅員	車道 4.900 m	歩道	1 m 計 4.900 m
橋面積	82.880 m <sup>2</sup>	地覆幅	35 cm + 35 cm
平面線形	<input checked="" type="checkbox"/> 直 <input type="checkbox"/> 斜 <input type="checkbox"/> 曲 <input type="checkbox"/> 多角(多心曲) 斜角 α = 90° 00' 00" 曲線半径 R = ∞ m		



施工前



施工後



※この補修事例はあくまでも参考事例であり、必ずしも記載されている補修工法がどの橋梁にもそのまま適用できるものではありません。